



2200年前の弥生時代の竪穴住居を復元。直径8mのほぼ円形で、高さ約6mもあるかやぶき屋根。床面積は約50㎡で、これは30畳分！の広さになります。当時、1軒に1家族6～8人が住んでいたと考えられています

御所野にある国指定史跡「地蔵田遺跡」(愛称・御所野「弥生つこ村」)は、日本で初めて発見された木柵で囲まれた弥生時代の集落跡です。いまこの集落跡を、市民のみなさんの手作りで復元中ですが、このほど、今回の表紙でも紹介している竪穴住居一軒が完成しました。このあとも、同様の竪穴住居二軒や集落を囲んでいた木柵などを整備していく予定です。

竪穴住居が完成 地蔵田遺跡の復元

ただいま建設中！



来年7月オープン 仮称 拠点センター



秋田駅の東口に、「(仮称)拠点センター」が平成16年7月にオープンします。民間棟と公共棟からなる複合ビルで、民間棟には飲食店、複合映画館、デイサービスセンター、一般オフィス、ホテルなどが入居。公共棟には市民活動交流室、情報おもしろ館、市民サービスセンター、子育て交流室など市民生活に身近な施設が入ります。また、これらの民間施設と公共施設はアトリウム(屋内広場)を中心に配置され、幅広い世代の人々が集う秋田駅周辺の核となります。



いよいよ今年八月下旬、太平洋リゾート公園に「(仮称)青少年自然文化ランド」がオープンします。ここは、子どもたちの自然体験の場所。屋根つきの広場、キャンプ場、散策路などがあって、約百八十人が宿泊でき、冬も利用できます。学校の宿泊研修や各種団体などにご利用いただき、自然を愛する、たくましい秋田っ子を育てます。

今年8月オープン 仮称 青少年自然文化ランド

今年10月完成 大森山動物園に「新猛獣舎」



ライオンやトラなどのいる猛獣舎が今年10月に新しくなってオープンします。今までの狭い鉄檻のコンクリートとは違い、ゆったりとした展示空間で、動物たちをより自然な姿で楽しんでもらいます。草木が植え込まれた広い運動場を、のっしのっしと歩く猛獣たちは、野性の姿を思い起こさせてくれるかもしれませんね。見る人はワクワク、動物もうれしい新猛獣舎を、お楽しみに！